

報道資料

奈良市教育委員会教育部  
地域教育課  
電話：0742-34-5366

## 「大柳生太鼓踊り（奈良県無形民俗文化財）」復活を夢見て！

～中学3年生22名、今年は演じ手最多、大太鼓・小太鼓・踊り・歌・篠笛・鉦(かね)に挑戦～

700年の伝統を持つと言われる「大柳生太鼓踊り」。平成24年を最後に神社への奉納は休止していますが、興東館柳生中学校の子どもたちが地域の学習として脈々と受け継いでいます。現在、**中学3年生22名**が、9月28日（土）に開催される「ふれあい広場2019」にて地域や保護者に披露するために、保存会ははじめ、地元の皆さんと一生懸命に練習を重ねています。**生徒数が年々減少するなか、今年が演じ手最多**となり、**大太鼓・小太鼓・踊り・歌・篠笛・鉦(かね)の全て**を演じます。

地域の願いと、それを受け継ぐ子どもたち、地域学習を通して主体性を伸ばそうとする先生、それぞれの情熱をぜひとも取材ください！

練習：8月28日（水） 13時30分～15時20分 興東館柳生中学校体育館にて

中学3年生22名、地域5名、教員5名（地域学校連携担当教員含む）

本番：9月28日（土）「ふれあい広場2019」 興東館柳生中学校体育館にて

※ふれあい広場は、こども園、小学生、中学生、地域、教職員、保護者など約300名が集います。

### 【午前11時00分頃～】 大柳生太鼓踊り「屋敷おどり」

1年生：口上 2年生：大柳生太鼓踊りの説明

3年生：大太鼓・小太鼓・踊り・歌・篠笛・鉦(かね)

例年、カセットテープに合わせて演じていますが、今年**は初めて踊り以外の歌・篠笛・鉦に挑戦**します！



※保存会の方や地域との練習の様子（令和元年7月）（本番は、踊り子の着付けなどを、地域の方々が行う）

### PRメモ

※大柳生には、夜支布山口神社祭神の分霊をその年の当屋に祀る「廻り明神」という風習が残り、毎年8月中ごろにその家の庭で太鼓踊りが奉納されていたが、現在はその「廻り明神」の当家制度だけが残る。

※興東館柳生中学校は、現在、全校生徒数50名だが、3年生22名が卒業したあとの生徒数は下降する見込み。今回の取り組みが演じ手最多になる模様。

※主催は興東館柳生中学校区地域教育協議会。奈良市地域教育推進事業の一環である「地域で決める学校予算事業」として行われ、地域と学校の連携により継続した取り組みとなっている。